



誕生おめでとう

赤ちゃんの名まえ	親の氏名	行政区
ももあ 佐藤 桃彩ちゃん	文信・智美	宮内
ななみ 佐藤 菜々美ちゃん	洋一・由美子	伊達市
ゆうと 遠藤 友翔くん	満・理恵	大久保・外内
みづき 穴井 瑞葵ちゃん	浩志・美和	横浜市

すくすくと元気に育ってね

結婚おめでとう

氏名	行政区
渡邊 健児	二本松市
菅野 美沙紀	比叡

いつまでもお幸せに

おくやみ

氏名	年齢	行政区
鹿山 ハルヨ	72	深谷
井上 エツ子	59	前田
高橋 喜六	96	小宮
平野 トシ	92	草野
松下 フチノ	92	宮内
北里 増治	83	草野
荒川 巴	71	二枚橋・須萱
佐藤 ミヨシ	84	関根・松塚

ご冥福をお祈り申し上げます

(1月21日から2月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

ひとのうごき

(平成22年2月1日現在)

人口	今月 (前月比)	昨年同期
男	3093人 (-10人)	3119人
女	3076人 (-10人)	3131人
計	6169人 (-20人)	6250人
世帯数	1715戸 (-6戸)	1688戸

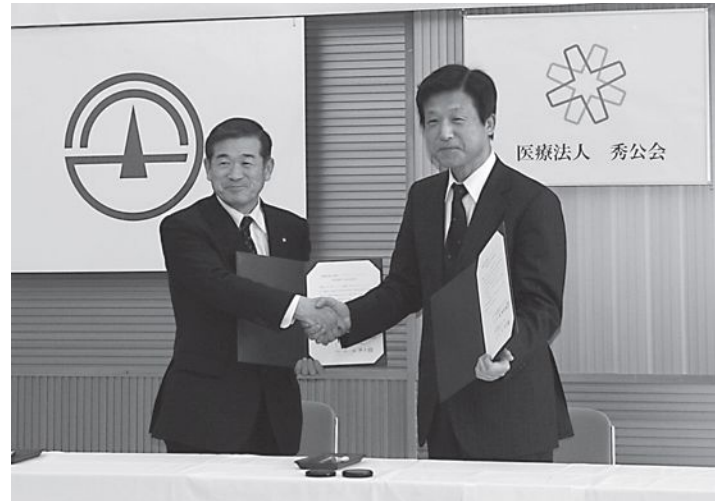
◆◆◆ 1月1日～31日までの人口動態 ◆◆◆	
転入	9人
転出	26人
出生	4人
死亡	7人

(平成17年国勢調査に基づき増減された現住人口)



飯館村 いたてクリニック 総合診療所

4月開所に向け、準備着々



▲協定書を取り交わす菅野村長(左)と辺龍秀理事長(右)

村と医療法人秀公会とのいたてクリニックに関する管理基本協定締結式

4月に開所する飯館村統合診療所「いたてクリニック」の管理に関する基本協定の締結式が、いちはん館で行われました。

締結式では、村議会議員と各区分長の臨席のもと、村と指定管理者の医療法人秀公会(辺龍秀理事長)が協定書を取り交わしました。

いたてクリニックは公設民営で、あづま脳神経外科(福島市)などを運営する医療法人秀公会が業務を行います。指定期間は平成22年4月から10年間で、総合診療科、脳外科、循環器科、リハビリテ

ション科等を設け、常勤医師1人、非常勤医師4人を配置する予定です。

調印後、菅野村長は「官と民、お互いのよさを出しながら運営していきたい」とあいさつ、辺龍理事長が「クリニックを運営することで、地域が安心して暮らせる環境に貢献していきたい」と抱負を述べました。

また、辺龍理事長による記念講話が行われ、村における多機能複合施設(いたてクリニック)による地域密着型サービスの展開や運営方針、将来の展望について述べました。

つつこ納豆をつくらう♪

2/27 関根・松塚までいスクール



▲手づくりのつつこ納豆を手にする参加者「納豆を食べるのが楽しみ！」

村では、食育の一環として、福島県地域の子育て応援交付金を活用した「つつこ納豆」づくりを関根・松塚までいスクールの協力を得て関根・松塚集会所で実施し、約20人が参加しました。

納豆づくりには、まめっこ畑で収穫された大豆と飯櫃小学校で作られた稲わらなど、全て地元産の材料が使用されました。

子どもたちは、はじめて作るわらの納豆に悪戦苦闘しながらも、地域の方に指導のもとそれぞれの手づくり納豆を完成させていました。

ぽけつと ころの

ヤングパパカ、村を救う?

若い親が、我が子を死に至らしめるという近頃のニュースを聞いたたび心が痛みます。しかも子の方が、その親に対して絶対の信頼を寄せていたり、小さいながら親の暴力行為などを周囲には、かばっていた等という話を後で聞くにつけ、なおさら胸がえぐられる思いです。

これまでの親は、ほぼ全員が「自分がどうなっても、子だけは助けなければ…」だったはずなのに。

飯館村には、そんな痛ましいことはありませんが、時代が時代ですから特に若いお父さんお母さんとはしっかり向き合っていかなければならないと思っています。子どもにとって最良の成長剤は「夫婦仲の良さ」との話もありますが、その夫婦円満の源には「父親の協力度」というのが大きいようです。

「男は仕事、女は家事育児」という言

葉、多くの方が耳にしているところですが、できる範囲で協力し合っていく時代、また協力し合っていかなければ家庭が維持できない時代になってきています。

3月1日は商工会によるナイスパパ表彰があります。また、3月21日には、村でパパ力検定も実施されます。

いずれも、子育てや家庭のことに頑張っている若いお父さんたちが多くなっています。そんなパパたちに皆さんの温かいまなざしや応援の声をかけてもらいたいものです。

親にとって、子は「宝もの」でありますが、それ以上村にとっては「ダイヤモンド」の価値以上のものです。

なぜなら、昨年村で生まれた子どもはたったの37人でした。一学年に200人や300人がいたおじいちゃん、おばあちゃんの時代に比べれば、大幅な出生の減少です。

お父さんが協力的であれば、お母さんも「助かるわ、じゃもう一人…」となるのも当然のなりゆきではないでしょうか。若いお父さん方、応援しますので頑張ってください!

平成22年2月26日

飯館村長 菅野 典雄